

日本学術会議 生活習慣病対策分科会（26期・第1回）議事録

日時 令和6年3月5日（火）18:00～

場所 ビデオ会議（zoom）

出席者（敬称略・五十音順）：[会員] 磯博康、野出孝一、[連携会員] 秋葉澄伯、浅野みどり、池田彩子、井上真奈美、小熊祐子、香美祥二、片山豪、郡山千早、中山健夫、宮地元彦、森晃爾、八谷寛

オブザーバー：佐藤加代子、水野篤

1) 役員決定と特任連携会員の推薦

世話人の進行で自己紹介がなされ、野出委員を委員長、郡山委員を副委員長、八谷委員と池田委員を幹事に選任した。また、水野篤氏を特任連携会員に推薦することを決定した。

2) 前期までの生活習慣病対策分科会の経緯の説明

前期委員長の八谷委員よりこれまでの生活習慣病対策分科会の審議や意見表出の経緯について説明があった。24期に医学教育モデル・コア・カリキュラムに関する提言を出したが、25期に「行動科学理論に基づく支援・環境整備、健康格差の縮小」等の提案を改訂のワーキンググループに提出して意見交換を行い、一部掲載されたと思われることが報告された。

3) 今期の活動について

前期委員長の八谷委員より、前期分科会委員会での審議内容や、それを踏まえた設置提案書内容について説明がなされた。また多職種（保健師・看護師・管理栄養士・栄養士、歯学・薬学等）のコア・カリキュラムの現状が共有され、委員間で意見交換が行われた。今後、担当を決めて、課題を整理し、意見表出の準備を進めることが承認された。